官報　第七千二百十一號　明治四十年七月十三日　土曜日　印刷局

○勅令

朕地方官官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年七月十二日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
内務大臣　原敬

勅令第二百六十六號

地方官官制中左ノ通改正ス

第一條中「事務官」ノ次ニ「事務官補」ヲ加フ

第三條　事務官ハ東京府ハ二人其ノ他ノ府縣ハ三人奏任トス但シ内務大臣ノ指定スル府縣ニ於テハ四人ヲ置クコトヲ得

事務官補ハ奏任トス

警視ハ奏任トス

第四條中「四千八百一八」ヲ「四千九百五十一八」ニ改ム

第五條　事務官補、警視、技師、技手及通譯ハ府縣ノ須要ニ依リ俸給豫算定額内ニ於テ之ヲ置ク但シ事務官補ハ二八、警視ハ警察部ニ屬スル者ハ大阪府ハ二八其ノ他ノ府縣ハ一八、警察署長ニ充ツル者ハ各府縣ヲ通シテ八十八ヲ超ユルコトヲ得ス

第十三條中「第一部長」ヲ「内務部長」ニ改ム

第十六條　各府縣ニ部ヲ置キ事務ヲ分掌セシムルコト左ノ如シ

内務部

一　議員選舉ニ關スル事項
二　府縣行政及郡市町村其ノ他公共團體ノ行政ノ監督ニ關スル事項
三　賑恤救濟ニ關スル事項
四　土木ニ關スル事項
五　會計ニ關スル事項
六　教育ニ關スル事項
七　社寺及宗教ニ關スル事項
八　農工商森林水産ニ關スル事項
九　兵事ニ關スル事項
十　他ノ主掌ニ屬セサル事項

東京府ニ於テハ右ノ外衛生ニ關スル事項

警察部

一　警察ニ關スル事項
二　衛生ニ關スル事項

第二十條中「第四部長」ヲ「警察部長」ニ改ム

第二十條ノ二　事務官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ヲ分掌ス

第二十一條中「第四部」ヲ「警察部」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕林區署官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年七月十二日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
農商務大臣　松岡康毅

勅令第二百六十七號

林區署官制中左ノ通改正ス

第二條中「十二八」ヲ「十九八」ニ、「二十五八」ヲ「三十二八」ニ、「林務官專任六八」ヲ「山林事務官補專任十四八」ニ、「六百六十三八」ヲ「八百九八」ニ、「千四百二十八」ヲ

本文

「千四百四十八人」ニ改ム

第四條第三項及第五條中「林務官」ヲ「山林事務官補」ニ改ム

第九條　山林事務官、山林技師、山林事務官補、山林屬、山林技手ハ臨時命ヲ承ケ山林局ノ事務ヲ助ク

第十條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ國有林野ニ付二以上ノ大林區署管轄區域ニ亙リテ經營スルコトヲ必要トスル事項ニ關シテハ農商務大臣其ノ管轄大林區署ヲ指定ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕明治三十九年勅令第五十八號中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年七月十二日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望

農商務大臣　松岡康毅

勅令第二百六十八號

明治三十九年勅令第五十八號中左ノ通改正ス

第一項中「林務官十八」ヲ「山林事務官補十一人」ニ、「六十四人」ヲ「六十六人」ニ、「百五十五人」ヲ「九百八十二人」ニ改メ「山林局鑑定官專任二人奏任」ヲ削ル

第二項ヲ削ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕明治三十九年勅令第五十九號中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年七月十二日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望

農商務大臣　松岡康毅

勅令第二百六十九號

明治三十九年勅令第五十九號中「十三人」ヲ「十七人」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕高等官官等俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年七月十二日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望

内務大臣　侯爵西園寺公望

勅令第二百七十號

高等官官等俸給令中左ノ通改正ス

第九條中各省ノ部「林務官」ヲ「山林事務官補」ニ改ム

文武高等官官等表中農商務省ノ部六等乃至八等ノ欄「林務官」ヲ「山林事務官補」ニ改メ府縣ノ部六等乃至八等ノ欄「府縣港務檢疫官」ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

府縣事務官補	同	上
同	上	高等文官官等相當俸給表中「林務官」ヲ「山林事務官補」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕地方高等官俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年七月十二日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望

内務大臣　原　敬

勅令第二百七十一號

地方高等官俸給令中左ノ通改正ス

地方高等官俸給令第一條年俸表中「郡長」ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

事務官補	千圓	九百圓	八百圓	七百圓	六百圓	五百圓

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕道廳府縣事務官特別任用ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年七月十二日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望

内務大臣　原　敬

勅令第二百七十二號

第一條　特別任用ノ規程ニ依リ道廳府縣警部長タリシ者ヨリ任用セラレタル道廳府縣事務官ハ道廳第四部長又ハ府縣警察部長ニ限リ補スルコトヲ得

第二條　特別任用ノ規程ニ依リ道廳府縣視學官又ハ參事官タリシ者ヨリ任用セラレタル道廳府縣事務官ハ道廳第二部長ニ限リ補スルコトヲ得

前項ノ事務官ハ高等官三等ニ陞敍スルコトヲ得ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ道廳府縣事務官特別任用ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年七月十二日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望

内務大臣　原　敬

勅令第二百七十三號

特別任用ノ規程ニ依リ任用セラレタル道廳府縣事務官ニシテ現ニ其ノ官ニ在ル者ハ道廳府縣事務官ニ任用スルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十八年勅令第百四十五號ハ之ヲ廢止ス

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ府縣事務官補特別任用ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年七月十二日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望

内務大臣　原　敬

勅令第二百七十四號

府縣事務官補ハ五年以上地方行政事務ニ從事シ判任官五級俸以上ノ職ニ在リタル者ニ限リ文官高等試驗委員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ任用スルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

許可 7211 本文

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ山林事務官補特別任用ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年七月十二日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
農商務大臣　松岡康毅

勅令第二百七十五號

山林事務官補ハ五年以上山林事務ニ從事シ現ニ判任官四級俸以上ノ職ニ在ル者ニ限リ文官高等試驗委員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ任用スルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○府令

臺灣總督府令第五十號

臺灣總督府通信手試驗規則左ノ通相定ム

明治四十年七月二日　臺灣總督　子爵佐久間左馬太

第一條　此ノ規則ノ試驗ニ合格シタル者ハ臺灣總督府通信手タルノ資格ヲ有ス

判任文官トシテ通信事務ニ從事シタル者及明治三十五年十一月府令第八十三號通信書記補特別任用試驗規則ニ據リ施行シタル試驗ニ合格シタル者ハ此ノ規則ノ試驗ニ合格シタル者ト看做ス但シ其ノ合格證書ノ有效期間ハ其ノ各號ニ日附ヨリ滿二箇年トス

第二條　年齡滿十六年以上三十五年以下ノ男子ニシテ身體健全且左ノ各號ニ該當セサル者ハ試驗ヲ受クルコトヲ得

一　重罪ヲ犯シタル者
但シ國事犯ニシテ復權シタル者ハ此ノ限ニ在ラス
二　定役ニ服スヘキ輕罪ヲ犯シタル者
三　破產若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者又ハ身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者

第三條　試驗志願者ハ別記書式ニ依リ願書ニ履歷書ヲ添ヘ試驗期日十日前迄ニ之ヲ試驗委員長ニ差出スヘシ但シ試驗ヲ行フヘキ期日及場所等ハ二箇月前ニ府報及臺灣總督府公學校第二學年以上ノ學力アル者但シ醫院長ニ於テ適當ト認ムル者ハ此ノ限ニ在ラス

三　家事ノ係累ナク規定年限內修業ノ見込アル者
四　身元確實ニシテ相當ノ資產アル保證人ヲ有スル者

第五條　講習地以外ノ地ヨリ採用セラレタル者ニハ相當ノ特別手當ヲ給スルコトアルヘシ

第六條　講習生ニ採用セラレタル者ハ別記第一號樣式ノ誓約書ヲ差出スヘシ

第七條　講習生ハ寄宿舍ニ收容シ食費一日金十八錢以內、手當一日金五錢ヲ給スルコトヲ得但シ許可ヲ得テ通學スル者ニハ手當一日金十五錢ヲ給スルコトアルヘシ

第八條　講習生疾病ニ罹リ臺灣總督府醫院ノ治療ヲ受クルトキハ相當治療料ヲ給スルコトアルヘシ

前項ノ治療料ヲ受クル者ニハ手當及食費ノ全部又ハ一部ヲ支給セサルコトアルヘシ

第九條　講習生講習期間內自己ノ便宜ニ依リ退學シ又ハ不都合ノ所爲アリテ退學ヲ命セラレ或ハ卒業後五箇年間引續キ助產婦ノ業ヲ營マサルトキハ支給シタル食費及手當ノ全部ヲ返納セシム

第十條　講習生正當ノ理由ナクシテ課業ヲ受ケサルトキハ食費及手當ヲ支給セス

第十一條　講習期間ハ一箇年半トシ之ヲ豫科及本科ニ分ツ

各科講習科目及其ノ講習期間左ノ如シ

豫科　六箇月以內

一　本科科目講習上必要ナル普通學　一箇年以內

二　本科　雜娠分娩產褥ノ生理及模型演習　前期

雜娠分娩產褥ノ生理、新生兒疾病論及育兒法竝實地演習　後期

臺灣總督府助產婦講習生規程

第一條　臺灣總督府公學校第二學年以上ノ學力アル者但シ醫院長ニ於テ適當ト認ムル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二條　講習生養成ニ關スル一切ノ事務ハ臺灣總督府醫院長ヲシテ之ヲ掌ラシム

第三條　講習生ハ左ノ各號ニ該當スル者ヨリ之ヲ募集ス

一　年齡滿十六年以上四十年以下ノ本島人女子ニシテ品行方正、身體强健ナル者
二　臺灣總督府公學校第二學年以上ノ學力アル者但シ醫院長ニ於テ適當ト認ムル者ハ此ノ限ニ在ラス
三　家事ノ係累ナク規定年限內修業ノ見込アル者
四　身元確實ニシテ相當ノ資產アル保證人ヲ有スル者

第四條　講習生ハ左ノ各號ニ該當スル者ヨリ之ヲ募集ス

一　年齡滿十六年以上四十年以下ノ本島人女子ニシテ品行方正、身體强健ナル者
二　臺灣總督府公學校第二學年以上ノ學力アル者但シ醫院長ニ於テ適當ト認ムル者ハ此ノ限ニ在ラス
三　家事ノ係累ナク規定年限內修業ノ見込アル者
四　身元確實ニシテ相當ノ資產アル保證人ヲ有スル者

第五條　講習生ハ寄宿舍ニ收容シ食費一日金十八錢以內、手當一日金五錢ヲ給スルコトヲ得但シ許可ヲ得テ通學スル者ニハ手當一日金十五錢ヲ給スルコトアルヘシ

第六條　講習生疾病ニ罹リ臺灣總督府醫院ノ治療ヲ受クルトキハ相當治療料ヲ給スルコトアルヘシ

前項ノ治療料ヲ受クル者ニハ手當及食費ノ全部又ハ一部ヲ支給セサルコトアルヘシ

第七條　講習生講習期間內自己ノ便宜ニ依リ退學シ又ハ不都合ノ所爲アリテ退學ヲ命セラレ或ハ卒業後五箇年間引續キ助產婦ノ業ヲ營マサルトキハ支給シタル食費及手當ノ全部ヲ返納セシム

第八條　講習生正當ノ理由ナクシテ課業ヲ受ケサルトキハ食費及手當ヲ支給セス

第九條　講習期間ハ一箇年半トシ之ヲ豫科及本科ニ分ツ

各科講習科目及其ノ講習期間左ノ如シ

豫科　六箇月以內

一　本科科目講習上必要ナル普通學　一箇年以內

二　本科　雜娠分娩產褥ノ生理及模型演習　前期

雜娠分娩產褥ノ生理、新生兒疾病論及育兒法竝實地演習　後期

第十條　講習生ハ一箇年以上ノ學力アル者但シ醫院長ニ於テ適當ト認ムル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　講習生養成ニ關スル一切ノ事務ハ臺灣總督府醫院長ヲシテ之ヲ掌ラシム

第十二條　講習生ハ寄宿舍ニ收容シ食費一日金十八錢以內、手當一日金五錢ヲ給スルコトヲ得但シ許可ヲ得テ通學スル者ニハ手當一日金十五錢ヲ給スルコトアルヘシ

第十三條　講習生疾病ニ罹リ臺灣總督府醫院ノ治療ヲ受クルトキハ相當治療料ヲ給スルコトアルヘシ

前項ノ治療料ヲ受クル者ニハ手當及食費ノ全部又ハ一部ヲ支給セサルコトアルヘシ

第十四條　講習生講習期間內自己ノ便宜ニ依リ退學シ又ハ不都合ノ所爲アリテ退學ヲ命セラレ或ハ卒業後五箇年間引續キ助產婦ノ業ヲ營マサルトキハ支給シタル食費及手當ノ全部ヲ返納セシム

第十五條　講習生正當ノ理由ナクシテ課業ヲ受ケサルトキハ食費及手當ヲ支給セス

第十六條　講習期間ハ一箇年半トシ之ヲ豫科及本科ニ分ツ

各科講習科目及其ノ講習期間左ノ如シ

豫科　六箇月以內

一　本科科目講習上必要ナル普通學　一箇年以內

二　本科　雜娠分娩產褥ノ生理及模型演習　前期

雜娠分娩產褥ノ生理、新生兒疾病論及育兒法竝實地演習　後期

履歷書

臺灣總督府助產婦講習生規程

第一條　臺灣總督府助產婦講習生ハ娩產介補竝初生兒手當ニ必要ナル技術ヲ習得セシムル

第二條　講習生養成ニ關スル一切ノ事務ハ臺灣總督府醫院長ヲシテ之ヲ掌ラシムル

第三條　講習開始ノ期日及醫院名ハ其ノ時々之ヲ告示ス

第四條　講習生ハ左ノ各號ニ該當スル者ヨリ之ヲ募集ス

一　年齡滿十六年以上四十年以下ノ本島人女子ニシテ品行方正、身體强健ナル者
二　臺灣總督府公學校第二學年以上ノ學力アル者但シ醫院長ニ於テ適當ト認ムル者ハ此ノ限ニ在ラス
三　家事ノ係累ナク規定年限內修業ノ見込アル者
四　身元確實ニシテ相當ノ資產アル保證人ヲ有スル者

第五條　講習地以外ノ地ヨリ採用セラレタル者ニハ相當ノ特別手當ヲ給スルコトアルヘシ

第六條　講習生ニ採用セラレタル者ハ別記第一號樣式ノ誓約書ヲ差出スヘシ

第七條　講習生ハ寄宿舍ニ收容シ食費一日金十八錢以內、手當一日金五錢ヲ給スルコトヲ得但シ許可ヲ得テ通學スル者ニハ手當一日金十五錢ヲ給スルコトアルヘシ

第八條　講習生疾病ニ罹リ臺灣總督府醫院ノ治療ヲ受クルトキハ相當治療料ヲ給スルコトアルヘシ

前項ノ治療料ヲ受クル者ニハ手當及食費ノ全部又ハ一部ヲ支給セサルコトアルヘシ

第九條　講習生講習期間內自己ノ便宜ニ依リ退學シ又ハ不都合ノ所爲アリテ退學ヲ命セラレ或ハ卒業後五箇年間引續キ助產婦ノ業ヲ營マサルトキハ支給シタル食費及手當ノ全部ヲ返納セシム

第十條　講習生正當ノ理由ナクシテ課業ヲ受ケサルトキハ食費及手當ヲ支給セス

第十一條　講習期間ハ一箇年半トシ之ヲ豫科及本科ニ分ツ

各科講習科目及其ノ講習期間左ノ如シ

豫科　六箇月以內

一　本科科目講習上必要ナル普通學　一箇年以內

二　本科　雜娠分娩產褥ノ生理及模型演習　前期

雜娠分娩產褥ノ生理、新生兒疾病論及育兒法竝實地演習　後期

（別記）

通信手受驗願

私儀通信手志願ニ付御試驗被成下度別紙履歷書及證明書相添此段相願候也
但シ選擇科目何々

年　月　日

廳府縣華士族平民　氏　名㊞

試驗委員長宛

（別紙）

本　籍
一　廳府縣何市何郡區何町村何番戶戶主又ハ某何男兄弟伯叔父等
現住所
一　廳堂街庄番戶（何某方）
住所ノ移轉
一何年何月何地ニ生レ何年何月迄居住
一何年何月何地ニ移轉シ何年何月迄居住
（右ハ居住ヲ移轉スル毎ニ之ヲ記入スヘシ）

學　事
一何年何月ヨリ何地何某ニ就キ又ハ官公私立何學校ニ於テ何學ヲ修メ何年何月ニ至ル所修ノ科目大略何々
一何年何月ヨリ何地官公私立何學校ニ入リ何學科ヲ修業シ何年何月卒業ス其ノ證書寫左ノ如シ
修業何年何月間ニシテ其ノ科目ハ何々
一何年何月何地何學校若ハ何地ニ於テ何々ノ試驗ヲ受ケ及第ス其ノ證書若ハ免許狀ノ寫別紙ノ如シ
受驗科目ハ何々

職　業
一何年何月何地官公私立何學校何科教員トナリ教授ニ從事シ何年何月解職其間何々ノ賞勳シ何々ノ事務ニ從事ス其ノ辭令左ノ如シ
（此所ニ辭令ノ全文ヲ各通共揭クヘシ又私立學校等ニテ辭令ナキモノハ其ノ俸給等ヲ本文ニ記スヘシ）
一何年何月何官廳ニ於テ何々拜命何年何月マテ何々ノ事務ニ從事シ何年何月辭職其ノ辭令左ノ如シ
（官記辭令各其ノ全文ヲ揭クヘシ）
一何年何月ヨリ何地何會社ニ傭ハレ給料何圓何々ノ事務ニ從事シ何年何月解傭其ノ間給料ノ增減アリ
一何年何月ヨリ何年何月迄何業ニ從事ス

賞　罰
一何年何月何地ニ於テ何々ノ事由ノ爲メ賞ヲ受ク其ノ辭令左ノ如シ
（辭令全文ヲ揭クヘシ辭令ナキモノハ本文中ニ受賞ノ事由ヲ記スヘシ）
一何年何月何地ニ於テ何々ノ事由ノ爲メ罰ヲ受ク
（辭令アルモノハ各其ノ全文ヲ揭ケ辭令ナキモノハ本文中ニ其ノ事由ヲ記シ及裁判所ノ宣告書ハ其ノ要ヲ記スヘシ總テ罰ハ其ノ受罰ノ日數料罰金ノ額等ヲ記スヘシ）
破產家資分散又ハ身代限處分ノ有無
一何年何月何地ニ於テ身代限ノ處分ヲ受ケ何年何月負債ノ辨濟ヲ爲シタルコト又ハ破產若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ何年何月復權シタルコト
裁判所ノ申渡ヲ記スヘシ
一破產若ハ家資分散ノ宣告又ハ身代限ノ處分ヲ受ケタルコトナシ
右之通相違無之候也

右　氏　名㊞

臺灣總督府令第五十一號

臺灣總督府助產婦講習生規程左ノ通相定ム

明治四十年七月四日　臺灣總督　子爵佐久間左馬太

許可 7211 號 官報

第十二條　試驗ヲ分テ課科、前期、後期ノ三種トス
第十三條　後期試驗ニ合格シタル者ニハ別記第二號樣式ノ卒業證書ヲ授與ス
第十四條　前條ニ依リ卒業證書ヲ受ケタル者ハ助產婦ノ業務ヲ營ムコトヲ得
第十五條　卒業者助產婦ノ業務ヲ營マントスルトキハ所轄廳ヲ經テ臺灣總督府ニ屆出ヘシ營業地變更ノ場合亦同シ
第十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ退學セシム
一　命令ニ違反シ訓誡ヲ加フルモ改悛ノ見込ナキ者
二　素行修マラサル者
三　成業ノ見込ナキ者
第十七條　醫院長ハ講習生心得ヲ設クルコトヲ得

（別記）

第一號樣式

誓約書　私儀

今般助產婦證書生トシテ御採用相成候ニ就テハ御規則等堅ク可相守ハ勿論中途退學シ又ハ卒業後五箇年間助產婦ノ業務ニ從事セサルトキハ講習中支給相成候食費手當ハ御命令ニ從ヒ保證人ニ於テ返納可仕候依テ誓約候也

年　月　日

住所職業　氏　名㊞　年　月　生
住所職業　保證人　氏　名㊞
住所職業　保證人　氏　名㊞

醫院長宛

第二號樣式

卒業證書

印

氏　名　年　月　生

明治四十年　月府令第　號業務總督府助產婦講習生規程第十三條ニ據リ此證書ヲ授與ス

明治　年　月　日

醫院長位勳爵學位氏名㊞

第　號

○訓令

陸軍省訓令丙第十八號

陸軍一般

內務省告示第七十九號

明治三十八年四月內務省告示第七十四號中「五人」ヲ「四人」ニ改ム

明治四十年七月十三日　內務大臣　原敬

大藏省告示第百二十五號

金額拂込濟ニ係ル大日本帝國政府五分利公債假證書ニシテ紛失シタルモノノ額面金額種類、枚數、記號及番號等左ノ如シ

明治四十年七月十三日　大藏大臣　法學博士阪谷芳郎

額面金額種類	枚數	記號番號	拂込金領收證印濟期數	記名者
百圓	一枚	三二八一三	第六期ヨリ宮城ヤス	
同	二同	三四三五〇 三四三五一	同	平野壽三郎
同	一同	六九七二	第五期ヨリ小林繁彌	
同	二同	八二三〇〇 八二三〇一	第六期ヨリ柳橋集一	
五拾圓	一同	一〇六三九	同	平野壽三郎
同	一同	二二八七	第五期ヨリ小林繁彌	

○告示

明治四十年度當省所管歲入歲出科目表中ヘ左記ノ通增設ス

陸軍大臣　寺內正毅

明治四十年七月十三日

△印增設

歲出臨時部

款	項	目	節
砲兵工廠營繕費			
	基隆砲臺建築費		
		第四號	
△	地所及建物買收費		

東京砲兵工廠作業

歲入

款	項	目	節
東京砲兵工廠作業收入			
	雜收入	第四號	
△	雜收		

遞信省告示第四百十三號

萬國郵便條約施行細則第四條聯合各國貨幣比例表中滿得拉各羅ノ項ヲ左ノ通改ム

明治四十年七月十三日　遞信大臣　山縣伊三郎

滿得拉各羅	二十五パラ	十パラ	五パラ

遞信省告示第四百十四號

本月十六日ヨリ左記郵便局ヲ設置シ普通通常、普通小包及書留小包郵便物ノ引受竝交付ニ限リ取扱フ

明治四十年七月十三日　遞信大臣　山縣伊三郎

名稱	位置	等級
フジヤマ　富士山郵便局	富士山御殿場口頂上	三等
フジヤマキタグチ　富士山北口郵便局	富士山吉田口及須走口ヨリ八合目	三等

遞信省告示第四百十五號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電話事務ヲ開始ス

明治四十年七月十三日　遞信大臣　山縣伊三郎

名稱	位置
高島郵便局	長崎縣西彼杵郡高島村

遞信省告示第四百十六號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十年七月十三日　遞信大臣　山縣伊三郎

名稱	位置
泰阜郵便局	長野縣下伊那郡泰阜村

統監府告示第九十六號

明治四十年六月二十六日韓國政府ニ於テ公布シタル浮流水雷拾得者ニ對シ行賞ノ件告示譯文左ノ如シ

明治四十年七月七日　統監　侯爵伊藤博文

告示

日露戰役ノ時沈設セシ水雷往往本國領海ニ浮流スル爲渡航及漁業者ニ危險ヲ及ホシ妨害甚シキカ故其ノ不慮ノ危害ヲ注意除去スル事ニ關シ已ニ沿海各地方ヘ訓令シ置キタル處自今本國領海內ニ於テ水雷ヲ發見シ所轄官廳ヘ屆出ツル者有之時ハ內外國人ヲ問ハス水雷一箇ニ對シ金壹百圓ヲ賞與スルニ付發見屆出ノ者ハ所轄官廳ニ申出ツルト同時ニ賞與金請求書ヲ提出スヘシ

光武十一年六月二十六日　內部

○敍任及辭令

○明治四十年七月十二日

任海軍中主計　村上　崇一
任海軍中主計　藤田　直一
任海軍中主計　森　彦兵衛
任海軍中主計　南條　壽
任海軍中主計　竹津　義圓
任海軍中主計　永宮二男造
任海軍中主計　目崎　得養
任海軍少主計　矢吹　務重
任海軍少主計　勝浦英三郎
任海軍少主計　大井新次郎
任海軍少主計　菊池理一郎
任海軍少主計　荒井　潔
任海軍少主計　藤山　文三
任奈良縣技師　諸井金太郎
敍高等官五等　滋賀縣高島郡長從六位勳六等　河毛　三郎
任北海道廳支廳長　內務屬正七位勳八等　前田　憲
敍高等官七等　滋賀縣野洲郡長正七位　鵜飼　元吉
任滋賀縣高島郡長　滋賀縣甲賀郡書記　藤谷永三郎
敍高等官六等　廣島縣世羅郡長正七位勳六等　島田　尙一
任滋賀縣野洲郡長　廣島縣屬　荒木　喬
敍高等官八等　京都帝國大學京都醫科大學敎授醫學博士　松下　禎二
敍高等官七等　海事局技師兼地方海員審判所審判官　正六位　島　柳二
任滋賀縣高島郡長　廣島縣佐伯郡長　國行　敬道
敍高等官五等　北海道廳支廳長　尾野　漸
任北海道廳支廳長　北海道廳支廳長　三郎
敍高等官七等　北海道廳支廳長　河毛　三郎
任滋賀縣高島郡長　北海道廳支廳長　前田　憲
敍高等官六等　北海道廳支廳長　前田　憲
任滋賀縣野洲郡長　滋賀縣高島郡長　鵜飼　元吉
任滋賀縣甲賀郡書記　滋賀縣野洲郡長　藤谷永三郎
敍高等官八等　廣島縣佐伯郡長　尾野　漸
任廣島縣世羅郡長　廣島縣沼隈郡長　阿武　信一
敍高等官八等　廣島縣佐伯郡長　島田　尙一

（各通）

四級俸下賜

許可 7211 号

六級俸下賜
年俸參拾圓下賜（以上七月十内務省）
廣島縣世羅郡長　荒木　喬
奈良縣技師　諸井金太郎
福島縣東白川郡高野村大字強梨字大石百一番地　尾又　クマ
故陸軍步兵伍長尾又子之吉明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百五拾圓ヲ賜フ
巖手縣下閉伊郡山田町飯岡二百六十五番戸　安倍　マス
故陸軍步兵上等兵安倍精一明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百六拾圓ヲ賜フ
巖手縣岩手郡瀧澤村大字鵜飼第十八地割字八人打二十七番地　西村　三太
故陸軍步兵一等卒西村喜太郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百四拾圓ヲ賜フ
宮城縣栗原郡金成村字新町二十番地　高橋　りの
故陸軍步兵一等卒高橋巳右衞門明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百四拾圓ヲ賜フ
新潟縣中頸城郡直江津町大字高崎新田十七番地甲ノ子　木南　チク
故陸軍輜重輸卒木南作藏明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ
福岡縣遠賀郡香月村大字馬場山四百五十四番地　竹下　シケ
故傭人竹下岩太明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四拾圓ヲ賜フ
東京府西多摩郡三田村二俣尾八百三十八番地　福田　ラク
故陸軍步兵上等兵福田角太郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百參拾圓ヲ賜フ
兵庫縣多可郡黒田庄村ノ内船町村三十四番屋敷　西村仁左衞門
故陸軍步兵一等卒西村正二明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百貳拾圓ヲ賜フ
大阪府泉北郡高石村大字高石南五百五十番地　南　イト
故陸軍步兵一等卒南米松明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百貳拾圓ヲ賜フ
巖手縣西磐井郡平泉村戸河内四番戸　小野寺喜三太
故陸軍步兵一等卒小野寺源太郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百貳拾圓ヲ賜フ
山形縣最上郡新庄町五日町千五百六十番地　齋藤　與作
故陸軍步兵二等卒齋藤作藏明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ
青森縣西津輕郡出精村大字兼館九十八番戸　藤本　ソン
故陸軍輜重輸卒藤本彌太郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ（以上七月陸軍省）

兼補陸軍大學校兵學教官
參謀本部附被免　（參謀本部員兼元帥副官陸軍步兵中佐）　兒島惣次郎
參謀本部附兼補陸軍大學校兵學教官　（陸軍步兵少佐）　久松　定謨
補步兵第三聯隊大隊長　（陸軍步兵少佐）　久松　定謨
陸軍技術審査部附被免　（陸軍工兵少佐）　西原茂太郎
補工兵第七大隊長　（陸軍工兵少佐）　西原茂太郎

（各通）　工兵第七大隊長陸軍工兵大佐　岡田　縣吉
步兵第三聯隊大隊長陸軍步兵少佐　松岡保太郎

休職被仰付
免本職步兵第六十二聯隊附被仰付　（步兵第六十二聯隊中隊長陸軍步兵大尉）　和田　敏夫
步兵第六十二聯隊附被免　（陸軍步兵大尉）　平戸　庸造
補步兵第六十二聯隊中隊長　（陸軍步兵大尉）　平戸　庸造
免本職補野戰砲兵第二十二聯隊中隊長　（陸軍砲兵大尉）　前田　實
野戰砲兵第二十一聯隊中隊長

免本職補野戰砲兵第二十一聯隊中隊長陸軍砲兵大尉　早川　分後
免本職補野戰砲兵第二十二聯隊中隊長

免本職補步兵第二聯隊大隊副官　（步兵第二聯隊大隊副官陸軍步兵大尉）　堀家　正文
免本職補步兵第二聯隊中隊長　（陸軍步兵第二聯隊附）　鶴見駿太郎
免本職補步兵第十一聯隊中隊長　（步兵第十一聯隊附陸軍步兵大尉）　宮原　彥三
免本職補步兵第十一聯隊大隊副官　（步兵第十一聯隊大隊附陸軍步兵大尉）　高橋　英一
免本職補步兵第十一聯隊大隊副官　（陸軍步兵大尉）　馬屋原五郎

（各通）　陸軍騎兵中尉　安藤　悟信
補騎兵第十聯隊附

（各通）　陸軍憲兵少尉　古市　太郎
陸軍工兵少尉　石黒　浩幹

豫備被仰付
免本職補野戰砲兵第六聯隊附　（第六師團經理部員陸軍一等主計）　淺野錦太郎
免本職補第六師團經理部部員　（陸軍一等主計）　高橋豐太郎
第六師團經理部附被免　（陸軍一等主計）　森崎武眞彥
補輜重兵第六大隊附　（陸軍一等主計）　森崎武眞彥

（陸軍一等主計）　橋本　國藏
輜重兵第六大隊附

免本職第六師團經理部附被仰付（以上七月十二日同）　海軍中佐　千坂智次郎
補大和艦長　大和艦長兼赤城艦長　水町　元
免本職專補赤城艦長　笠置水雷長兼分隊長　林　直親
免本職竝兼職補疾風驅逐艦長　夕凪驅逐艦長兼疾風驅逐艦長海軍大尉　高橋　律人
免兼職　第十旗艦傑長海軍大尉　山田　虎雄
免本職補笠置水雷長兼分隊長

補第十艦隊艦長
富士分隊長心得被仰付　（海軍大尉）　山中　義勇
第十八艦隊艦長心得被仰付　（海軍中尉）　百武　源吾
（海軍中尉）　伊藤彰五郎
（海軍中尉）　堀江　平彌

第十八艦隊艦長心得被免佐世保敷設隊分隊長心得被仰付　（海軍少尉）　青木秋太郎
石見乘組被仰付　（海軍機關大尉）　出雲　侃
補見島分隊長　（海軍機關少尉）　船橋光次郎
免高雄乘組補第十四驅逐隊附　（海軍機關少尉）　太田　宇一
高雄乘組被仰付　（海軍大軍醫）　細谷　五郎
補横須賀海軍病院附　（海軍大主計）　大曲　常藏
免本職補横須賀海軍經理部課員　（海軍大主計）　佐野和一郎
補高千穗主計長　（海軍大主計）　眞能　金吾
補佐世保海軍工廠會計部附　（海軍中主計）　村上　春一
（海軍中主計）　藤山　直一
（海軍中主計）　森　彥兵衞
（海軍中主計）　南條　壽
（海軍中主計）　竹津　義圓
（海軍中主計）　永宮二男造
（海軍少主計）　目崎　得養
（海軍少主計）　矢吹　務重
（海軍少主計）　勝浦英三郎
（海軍少主計）　大井新次郎
（海軍少主計）　菊池理一郎
（海軍少主計）　荒井　熙
（海軍少主計）　藤山　文三

海軍經理學校乙種學生被仰付
休職被仰付　（海軍兵曹長）　加藤　保大
夕暮掌砲長兼掌水雷長被免　（海軍兵曹長）　木下　已六
横須賀駛設隊附被免　（海軍兵曹長）　佐藤與三郎
丹後乘組被免　（海軍船匠長）　野村　常吉
呉海軍工廠艤裝委員附ヲ命ス（以上七月十海軍省）　（海軍船匠長）　中澤　眞夫
應用化學研究ノ爲滿三箇年間獨國及米國へ留學ヲ命ス（七月十文部省）
學術上取調ノ爲上京ヲ命ス（七月八日）　熊本高等工業學校　小宅千次郎
十一級俸下賜（七月十農商務省）　精業改良事務局技師　鹽崎　成男

（各通）
（各通）
（各通）

帝國鐵道廳上野營業事務所電氣長ヲ命ス（七月遞信省）　帝國鐵道廳技師　一樋　豐二
帝國鐵道廳若松建設事務所長ヲ命ス　帝國鐵道廳技師　富田保一郎

（各通）　帝國鐵道廳技師　矢内　信讓
帝國鐵道廳若松建設事務所勤務ヲ命ス（以上七月五日同）　帝國鐵道廳技師　小野　諒兄
帝國鐵道廳技師　富永　謙治
七級俸下賜　臨時鐵道國有準備局事務官　水野　專吉
五級俸下賜　帝國鐵道廳主事　水野　專吉
十級俸下賜　帝國鐵道廳技師　小川床之輔
帝國鐵道廳計理部勤務ヲ命ス　帝國鐵道廳主事　水野　專吉
帝國鐵道廳鐵道調査所勤務ヲ命ス　帝國鐵道廳技師　於保　庫一
免本職補横須賀海軍經理部課員　帝國鐵道廳技師　小川床之輔
補高千穗主計長　海軍大主計　眞能　金吾
補佐世保海軍工廠會計部附　海軍中主計　村上　春一
（海軍中主計）　藤山　直一
（海軍中主計）　森　彥兵衞
（海軍中主計）　南條　壽
（海軍中主計）　竹津　義圓
（海軍中主計）　永宮二男造
（海軍少主計）　目崎　得養
（海軍少主計）　矢吹　務重
（海軍少主計）　勝浦英三郎
（海軍少主計）　大井新次郎
（海軍少主計）　菊池理一郎
（海軍少主計）　荒井　熙
（海軍少主計）　藤山　文三

神奈川縣足柄下郡眞鶴村へ出張ヲ命ス（以上七月十日同）　臺灣總督府事務官　朝倉菊三郎
第一稅務監査區長ヲ免ス　臺灣總督府事務官　丸山　久男
第一稅務監査區長ヲ命ス（以上五月十八日臺灣總督府）　臺灣總督府稅務官　新谷　清潔
臺灣總督府警察官及司獄官練習所敎官ヲ命ス（六月二日同）　臺灣總督府參事官　永内　信讓
臺灣總督府警察官及司獄官練習所舍監并書記ヲ命ス（六月二日同）　臺灣總督府殖産局長　宮尾　舜治
（各通）　臺灣總督府技師　高木　友枝
臺灣總督府參事官　持地六三郎
臺灣總督府殖産局長　鈴木　益定
稻垣長次郎

臺灣總督府事務官　竹島慶四郎
臺灣總督府技師　濱野彌四郎

臺灣中央衞生會委員ヲ免ス
（各通）
臺灣中央衞生會委員ヲ命ス

臺灣中央衞生會委員ヲ免ス　（臺灣總督府事務官）　阿部　滂
民政部財務局會計課兼務ヲ命ス（以上六月二十九日同）　（臺灣總督府技師）　小花和太郎
上京ヲ命ス（七月五日同）　臨時臺灣糖務局技師　岡田　嘉義
五級俸下賜（七月五日同）　（嘉義廳長）　小田　省吾
六級俸下賜（七月五日同）　奈良縣立畝傍中學校長　立花　通年
年俸七百圓下賜（七月滋賀縣）　滋賀縣農事試驗場技師　永岡　堯
校務ノ都合ニ依リ休職ヲ命ス（七月九日）　熊本高等工業學校敎授　小宅千次郎
年俸八百圓下賜（七月六日鹿兒島縣）　巖手縣立農學校長兼巖手縣立農學校敎諭　阿部　滂
　鹿兒島縣林業技師　廣瀨　浦次

許可 7211 号

正誤

去月十日本國ニ三二頁下段小林正次ハ廣田正次ノ報告誤　陸軍大臣官房

昨十二日本欄三一八頁上段柳田敬彦及辻保造ノ上判事判事ハ部長判事、三二〇頁上陸平山陸太郎ハ平山鉉太郎ノ誤モ誤植

○宮廷錄事

○謁見竝御陪食　本邦駐箚亞米利加合衆國特命全權大使リューク、イー、ライト今般歸國ニ付キ御暇乞ノタメ昨十二日午前十一時五十分參內　天皇陛下ニ謁見了テ娘同伴　皇后陛下ニ謁見引續キ　兩陛下午餐御催ニ付キ威仁親王同妃慰子兩殿下、依仁親王同妃周子兩殿下ヲ召サセラレ前記大使、高倉典侍、北島權掌侍、香川權掌侍取扱、德大寺侍從長、田中宮內大臣、林外務大臣、岡澤侍從武官長、岩倉侍從職幹事、香川皇后宮大夫、花房宮內次官、戶田式部長、丹羽式部官、山內外事課長、伊藤式部次長式部主事子爵稻葉正縄ヘ御陪食仰付ケラレタリ

○謁見　本邦駐箚伊國大使館參事官男爵ローマノ、アヴェッアナ夫人今般來著ニ付キ敬意ヲ表スルタメ昨十二日午前十一時四十分參內　皇后陛下ニ謁見仰付ケラレタリ

○彙報

○官廳事項

○華族懲戒委員會會長互選　貴族懲戒委員會規則第二條ニ依リ一昨十一日會長ノ互選ヲ行ヒシニ公爵德川家達當選セリ

○官吏發著　御料局理事和田國次郎ハ本月四日出發同局木曾支廳ヘ出張セリ

○官吏死去　後備陸軍騎兵少尉正八位醉歸泉之助ハ去月十一日死去セリ

判決

○行政裁判所判決　官有山林下戻請求ノ訴ニ對シ本月四日行政裁判所ニ於テ左ノ如ク判決セリ

明治三十七年第百三十三號

裁判宣告書

群馬縣山田郡毛里田村大字吉澤村學音寺代表者　原告　同寺住職　藤生　養純　外三名

原告代理人　辯護士　高橋　章之助　辯護士　宇都宮　政市　辯護士　久保田　堅次　辯護士　農商務大臣　松岡　康毅　辯護士法學博士　高木　豐三

被告　復代理人　農商務大臣　松岡　康毅　被告代理人　辯護士法學博士　高木　豐三

右當事者間ニ於ケル官有山林下戻請求ノ訴審理判決スルコト左ノ如シ

主文

原告ノ請求ハ棄却ス

訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

事實

原告陳述ノ要旨ハ本件請求地ハ舊來原告寺境內ノ寺屬地ニシテ甲第一號證延寶四年ノ水假ニ屋數一畝六步學音寺トアル中ニ包括セラレタルモノナルニ明治五年地券發行ノ際世立上甲第二號證一筆限帳記載ノ如ク三筆ニ分裂シ其後明治九年地租改正ノ際更ニ甲第三號證地引帳記載ノ如ク五筆ニ分裂シ三十四番共有墓地ハ廢汎ニ過クルノ故ヲ以テ更ニ復之ヲ甲乙ノ二筆ニ分裂シ甲三十四番ハ之ヲ墓地トナシ乙三十四番卽チ本件請求地ヲ官有ニ編入シタル次第ニテ本件請求地ハ原告ノ所有ナルコト明カナレハ其下戻ヲ請フト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ係爭地ノ原告寺境內ノ一部ニシテ甲第一號證ノ「天開屋數一畝六步學音寺」トアルハ其ノ一致スルヤ否ハ明カナラス現ニ甲第二號證ニハ甲第一號證記載ノ「屋數一畝六步」ノ外ニ「屋數一畝六步ヲ分裂シテ他ノ二筆ヲ設ケ其一筆ハ段別七段三畝二十七步ヲ生シタリト認ムルコト能ハス殊ニ甲第一號證ニハ間誤ヲ記載シ更ニ形狀明確ニシテ一般山林又ハ切畚畑ノ如ク時ニヨリ段別ニ大差アルモノ同誤シ難シ而シテ「屋數一畝六步」ハ現ニ民有ニ歸シ居ルヲ以テ原告ノ請求ハ不當ナリ依テ其棄却ヲ請フト云フニ在リ

理由

本件原告ノ請求地字七日市乙三十四番國有林三段五畝十一步ハ其隣地甲三十四番墓地一段三畝二十三步ト共ニ元ト一筆ニシテ甲第三號證ニ三十四番共有墓地四段九畝四步ハ甲第二號證ノ見捨地五段八畝步ハ甲第三號證ニ甲第二號證ノ見捨地ニ相當スト認ムヘキモノノ記上ナキニ依テ之ヲ認ムルヲ得ヘク而シテ甲第二號證ニモ其區「屋數一畝六步」ノ記上ナキニ依テ之ヲ認ムルヲ得ヘシ加之ナラス本件請求地ハ原告學音寺ノ舊境內地ニシテ現ニ古墳古碑ノ多數存在スルコトハ被告ノ爭ハサル所ナリ故ニ是等ノ事實ヲ綜合スルトキハ甲第一號證ニ「屋數一畝六步學音寺」トアルハ原告寺ノ舊境內全部ヲ謂ヒタルモノニシテ請求地ハ之ニ包含セラルルモノト認定スルニ十分ナリトス被告ハ新舊段別ノ差異ヲ理由トシテ分筆ノ事實ヲ否認シ難シ又甲第一號證ノ「屋數一畝六步」ハ甲第二號證ニモ其區「屋數一畝六步」トアリ現ニ民有トナレリト主張スレトモ甲第二號證ノ「屋數一畝六步」ハ甲第三號證ニ其記載ナク而シテ原告寺ノ本堂及庫裏等甲三十六番共有寺地中ニアルヲ見レハ甲第二號證ニ於テハ一旦民有ニ取調タルモ

○裁判言渡ヲ取消シ被告人ヲ重禁錮一個月ニ處スル旨ノ判決ヲ爲シタリ

○上訴棄却ノ判決ヲ本件請求地ハ檢地帳名受地ノ一部ニシテ原告寺ノ所有ニ歸スヘキモノナレハ原告ノ請求ヲ理由アリトシ主文ノ如ク判決ス

明治四十年七月四日行政裁判所第一部公廷ニ於テ宣告ス

裁判長　行政裁判所長官法學博士　山脇　玄

裁判官　行政裁判所評定官　水下　友三郎

行政裁判所評定官　戶田　恒太郎

行政裁判所評定官　正樹　眞谷

行政裁判所評定官　猿渡　尉之助

行政裁判所書記　羽仁　隣吉

司法及警察

○特赦　南投廳五城莊庄百五十七番地雜貨ハ明治三十年九月二十二日竊中地方法院ニ於テ匪徒刑ニ依リ懲役九年ノ宣告ヲ受ケ服役中ノ處去月三日特典ヲ以テ放免シ併テ監視ヲ免セラレタリ

○出火　昨十二日午前一時二十分東京府下多摩郡八王子町大字八王子島屋ヨリ出火全燒八戶、半燒五戶同二時三十分鎭火原因過失ナリ

○陸海軍

○陸

○歸鐵術卒業　騎兵第十七聯隊ニ於テ去月三十日左記ノ者ニ各〻歸鐵術卒業證書ヲ付與セリ（陸軍省）

騎兵二等卒	西部	平治	宮城縣平民
騎兵一等卒	久保	直太郎	長野縣平民
騎兵一等卒	池吉	松吉	長野縣平民
騎兵二等卒	庄兵衛	八郎	山形縣平民
騎兵二等卒	別所	友吉	山形縣平民
騎兵二等卒	堤	末吉	埼玉縣平民
騎兵二等卒	石田	彥治	靜岡縣平民
騎兵二等卒	金傳之助		富山縣平民
騎兵二等卒	富橋	勘三郎	

○海軍

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著發	行先
金剛	七、二	發	韓鎭海灣
風速	〃	著	〃
夕霧	〃	發	〃
朝顏	〃	著	〃
電	〃	發	〃
雷	〃	著	〃
鹿島	〃	發	行先
千歲	〃	著	韓鎭海灣
筑波	〃	發	〃
橋立	〃	著	〃
葛城	〃	發	〃
三笠	〃	著	釜山
三日月	〃	發	〃
夕立	〃	著	〃
千早	〃	發	〃
鹿島	〃	著	韓鎭海灣
玖珠	〃	發	〃
大淀	〃	著	〃
神戶丸	〃	發	〃
阜丸	〃	著	〃
卯月	〃	發	〃
鵜	〃	著	鎭海灣
雲雀	〃	發	〃
松鼠	〃	著	江田島

○卒業證書授與　東京帝國大學ニ於テ一昨十一日卒業證書授與式ヲ擧行シ各分科大學本學年卒業ノ學生六百五人ニ卒業證書ヲ授與セリ當日ハ　天皇陛下御臨幸アラセラレ特ニ優等生ニ賞品ノ恩賜アリ卒業證書授與ノ畢テ還幸アラセラル又閑院宮、東伏見宮兩殿下御臨場及大臣共他貴賓多數ノ來會アリタリ其卒業學生及優等學生ノ氏名等左ノ如シ

法科大學（百八十四人）

法律學科

東京府士族	山口	堅吉	
神奈川縣平民	鹽田	環	
東京府士族	山口	一郎	
山梨縣平民	鳩山	連三	
佐賀縣士族	八卷	能敬	
栃木縣士族	野口	燊	
廣島縣平民	古畑	道雲	
愛知縣平民	戀水	宗三郎	
靜岡縣士族	松野	松太郎	
栃木縣平民	岸	國次郎	
福岡縣平民	鶴田	爲次郎	
東京府士族	伊東	四郎	
富山縣平民	松島	貫隆	
東京府平民	仮田	益雄	
山形縣士族	華山	僅一郎	
熊本縣平民	岡村	喜一郎	
群馬縣士族	松崎	貞雄	

（佛蘭西法兼修）

鳥取縣士族	村上	恭一	
島根縣平民	潮	惠之輔	
東京府士族	永井	繁	
東京府平民	河津	益雄	

（德國法兼修）

大阪府平民	村上	春一	
新潟縣平民	島	熊三郎	
兵庫縣平民	藤田	好三郎	
茨城縣平民	久米	孝藏	
愛知縣平民	大河內友次郎		
香川縣平民	背木	矢鍋	永三郎
岡山縣平民	中島	信一郎	
東京府士族	松田	計治	
北海道士族	克		
東京府平民	恩地	音八	
新潟縣平民	小林	豐助	
三重縣平民	明敬	谷元	
東京府士族	榮治		

（獨逸法兼修）

山口縣平民	治部	廣助	
山口縣士族	業屋	謙	
東京府士族	大谷	正男	
栃木縣平民	岡田	愈一	
福島縣平民	田島	房太郎	
京都府平民	山田	佐一	
東京府士族	福富	正男	
奈良縣士族	島山	敏行	
香川縣平民	渡邊	省三	
愛知縣平民	高岡	壽	
東京府華族	武者小路公共		
大阪府平民	上野	精一	
東京府平民	齋藤	守圀	
大阪府平民	高辻	亮一	
鳥取縣平民	正太郎		
宮城縣平民	谷井	文藏	
山形縣平民	市川	滋穗	
岐阜縣平民	片岡	豐丈	
岡山縣平民	澤田	倬	
佐賀縣士族	增田	秀司	
福島縣平民	佐々木	正次郎	
熊本縣士族	荒木	乙丸	
福岡縣士族	福井	勗	
宮城縣士族	片倉	竹藏	
鳥取縣平民	萬谷	駿吉	
東京府士族	三矢	宮松	
山形縣平民	小野	對太郎	
愛媛縣平民	須藤	素	
福島縣平民	杉本	良	
宮城縣平民	小西	幸七	
大分縣士族	矢野	正雄	
德島縣士族	林	喜八郎	
大分縣平民	伊東	秀雄	
福井縣士族	草間	義則	
靜岡縣平民	杉本	鈴藏	
愛知縣平民	林	信次	
宮城縣平民	後藤	三郎	
兵庫縣平民	平熊	友明	
齋藤	力		

廣島縣士族	池田	亮造	
熊本縣士族	藤井	金之	
兵庫縣平民	山本	唯次	
佐賀縣士族	中島	淳二	
鳥取縣平民	田中	弟稻	
廣島縣士族	長崎	英造	
福島縣平民	波邊	徹	
愛知縣平民	三藏		
神奈川縣平民	田中	鐵太郎	
長野縣士族	古松	六次郎	
新潟縣平民	清水	仁八	
愛媛縣士族	笠井	竹二郎	
愛知縣平民	大西	英明	
愛知縣平民	服部	清佐	
山形縣平民	村井	蕙	
大阪府平民	水下	川上	
東京府士族	那邊		

政治學科

宮崎縣華族	小村	欣一	
熊本縣士族	山室	宗文	
東京府士族	川田	順	
長谷川	久一		
佐々木謙一郎			
戶田	氏秀		
安達	欽曉		
河原	賀市		
時實	秋穗		
齋藤	敬吉		
副島	千八		
市松	巽		
松島	氣藏		
高久	顏		
山內	忠德		
清水	怒濤		
村田	正平		
尾形	常孝		
神鞭	鐵三郎		
佐賀縣士族	田中		

本文 官報 7211 第

官報

7211

明治四十年七月十三日

第七二一一號

獸醫學科

鹿兒島縣士族　（内務省衛生局技師正五位勲五等　伊藤悌藏　改名）
宮城縣士族　（獨逸國伯林大學校卒業　醫學博士　竹内惟勝）
福岡縣平民　（獨逸國伯林大學校卒業　醫學博士　鈴木重武）
熊本縣士族　（獨逸國伯林大學校卒業　醫學博士　美太郁太郎）
宮城縣士族　（獨逸國伯林大學校卒業　醫學博士　佐藤彦輔）
新潟縣士族　小野宗志
鹿兒島縣士族　山口乾輔
農學科（明治三十年九月十日卒業）
兵庫縣平民　小出清二
合計六百五人

京都帝國大學ニ於テ本月十日法科大學竝ニ理工科大學ニ於テ左記學生ニ卒業證書ヲ授與セリ其卒業生ノ氏名（イロハ順）左ノ如シ

優等生

法科大學

法律學科

獨逸	村上　静一	同	和田　瑰之助
同	政治學科	同	警尾　勘解治
同	有田　一郎	同	永宮　仁平
同	小村　欣一	同	中上　友三郎
同	山室　宗文	同	渡邊　壽
同	伊佐　恵一	同	南條　壽
同	新七　入水	同	中上川　彦
同	仙八　儀崎	同	正之　上山
同	石井　林藏	同	飛治　河野
同	飯森　檬男	同	可兒　信夫
同	林　繁造	同	川村　龍雄
同	波部　櫃六郎	同	柿原　得一
英	一風田　林平	同	河田　文一
獨	長谷川　東一	同	關部　久太郎
同	西村　甫太郎	同	吉川　一永
同	掘木　常助	同	吉村　雄吉
同	千歳　大八木	同	常吉　保
同	寛輔	同	四方田　久
同	大八木　治久	同	市次　佛
獨	一小野　大井	同	山本　幸枝
同	小野寺　彦雄	同	山田　勝吉
同	時雄	同	山澤　秋介
英	一結城　太田	同	牧田　孫
同	萬之進	同	前川　一作
同	櫛田　嘉七	獨	三浦　永
同	大塚　帶	同	三澤　寛一
同	小野　寛	同	水口　得多
獨	一小原　時雄	同	木村　岸次
同	寺彦	同	倭　眞知
同	大井　治久	同	計
同	寛輔	同	一雄
同	千歳　大八木	同	多
同	寛輔	同	郎
同	掘木　常助	同	登吉
同	千歳　寛	同	一吉
同	大八木　治久	同	朝
同	寛輔	同	善
同	掘木　常助	同	光
同	千歳　寛	同	彦
同	大八木　治久	同	人
同	寛輔	同	郎
同	掘木　常助	同	彦
同	千歳　寛	同	吉
同	大八木　治久	同	郎
同	寛輔	同	郎
同	掘木　常助	同	郎
同	千歳　寛	同	郎

機械工學科（舶用機關學專修）同第三年　中川　健二
造船學科第三年　中川　八代　準
同第二年　山本　武藏
造兵學科第三年　伊藤　萬太郎
電氣工學科第三年　桑木　晃治
同第二年　一色　眞三
建築學科第三年　福田　重義
鹽用化學科第三年　大西　一雄
同第二年　川上　嘉市
採鑛及冶金學科第三年　宮崎　虎一

理科大學
數學科第三年　雉田　忠彦
渡邊　孫一郎
同第二年　掛谷　宗一
星學科第二年　福見　尚文
理論物理學科第三年　寺澤　寛一
同第二年　齋藤　豐吉
實驗物理學科第三年　狩野　豐勝
化學科第三年　山崎　榮一
同第二年　野村　博
動物學科第三年　川村　多實二
動植物學科第二年　大島　廣

地質學科第二年　加藤　鐵之助

農科大學
農學科第三年　見波　定治
深津　勝經
同第二年　寺尾　博
崇　正雄
農藝化學科第三年　浦田　隆一
同第二年　奥田　讓
林學科第三年　五十嵐　平二
同第二年　藤岡　光長
北留間　重次郎
獸醫學科第三年　哲二
木村　虎猪
同第二年　野中　鼎

○産業

○鑛業事項

鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ（農商務省）

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	許可及登錄ノ月日	事由
採掘鑛種名更正許可						
岐阜採登錄第十七號	大野郡進川村地內	銀、銅、鉛	七、〇一三	福岡縣嘉穗郡二瀨村大字川津　中野　德次郎	六、一一	採掘鑛種名更正願許可（銀鑛追加）
福岡採登錄第二百七十六號	企救郡東谷村地內	金、銀、銅、硫化鐵	六〇、八三〇	福岡縣福岡市大名町　中島　辰次郎	六、一一	同（金銀鑛追加）
採掘許可						
山形採登錄第三號	西村山郡西山村地內	金	六、二五三	東京市本所區綠町四丁目　藤本　巖猛	六、一〇	採掘鑛區增區願許可
新潟採登錄第二百八十六號	中頸城郡板倉村地內	石油	二一五、二〇五	新潟縣刈羽郡大洲村大字大久保　日本石油株式會社	六、一一	特許第二一一六號採掘鑛區分割願許可
新潟採登錄第二百八十七號	同	同	二八、九五六	同	六、一一	同
福島採登錄第百八號	石城郡內鄉村、好間村、笠繼村地內	石炭	二、九七七、七九	東京市京橋區本湊町　鹽城炭礦株式會社	六、一一	採掘鑛區增減區願許可
廢手採登錄第百十八號	和賀郡澤內村地內	金、銅	五九、九七〇	同市同區築地一丁目　梅津　もん	六、一一	採掘願許可

○特許、商標登錄　特許局ニ於テ去月十一日ヨリ同二十日マテニ特許、商標ヲ登錄セシモノ左ノ如シ（農商務省）

特許

特許番號	發明名稱	特許證主氏名	許可及登錄ノ月日	事由
二三五一	自働短銃	伊太利　ブロヴダリオ、アレサンドロ	六、一一	同
二三五二	羅針盤用照準器	兵庫縣	六、一一	同
二三五四	直流交流奴用小形弧光燈	東京府　高橋　練吾 北村　竹四郎	六、一一	同
二三五五	旋轉機關	英國　ウヰルソン、レーナー ジョーンソン、レーナー 溱太刺　利	六、一一	同
二三五六	「インキ」消液	東京府　米山　眞次郎 眞次郎	六、一一	同
二三五七	調味料醬精製造法	兵庫縣　遠藤　增衛	六、一一	同
二三五八	捻金紐製造機械	大阪府　甲田　友治郎	六、一一	同
二三五九	螺狀彈機	米國　ロバート、シーグフレド	六、一一	同
二三六〇	硫化色素撚込染法	愛知縣　花崎　直次郎	六、一一	同
二三六一	給油車輪軸筐（車柱油壺ニ自働給油車輪軸筐ヲ附シタルモノ）	北海道　八章　爲太郎	六、一一	同
二三六二	倉田式吉野機	福岡縣　倉田　鑒平	六、一一	同
二三六三	機架螺師乾繭器	縣手縣　田邊　武雄	六、一一	同
二三六四	綱索製合條	英國　ウヰルリアム、ヘルバルト、ニールド	六、一一	同
二三六五	白熱電燈用ノ「カーボン」吊子	獨國　「ヂー、ダブリユー、ブリックス、カムパニー」 ウヰルリアムメランド ウヰルリアム、ヘルバルト、ニールド	六、一一	同
		「ドヽチツヂエン、ガス、アンド、エレクトリシチー、ゲゼルシヤフト、アウエルゲゼルシヤフト」		

商標

登錄番號	商品名	登錄證主氏名
二九六七四	「ウイスキー」一切	英國　イラース、カムパニー、リミテッド
二九六七五	印刷機、其他諸機械一切	東京府　櫻印刷機械製造合資會社
二九六七六	食鹽	廣島縣　首尾木　靖夫
二九六七七	化學品藥劑及醫療助品一切	大阪府　森下　博
二九六七八	香水、香油、髮香、綠資、炭香、化粧下、其他前類ニ屬セサル化粧品一切	東京府　安藤　屬太郎 福岡縣　彌吾　勘次郎 大阪府　安原　彌造 愛知縣　中村　醉一
二九六七九	清酒	大阪府　安藤　屬太郎
二九六八〇	煙火	愛知縣　中村　醉一
二九六八一	醬油溜	
二九六八二	紋水機	

二三五六	箔打延紙製造方法	京都府　河本　喜兵衛	
二三五七	鋼袋機	千葉縣　石見　豐治郎	
二三五八	油拭用織縞	長崎縣　森　益太郎	
二三五九	衛生綢盜	大阪府　岩崎　駒吉	
二三六〇	弧	東京府　宇田川吉五郎	
二三六一	玻璃製造裝置	米國　アルフレッド、エム、リー	
二三六二	自働銃	英國　「モーブレー、ゴーア、アンド、クアアーサー、ヘンリー、セル」	
二三六三	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二三六四	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二三六五	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二三六六	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二三六七	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二三六八	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二三六九	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二三七〇	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二三七一	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二三七二	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二三七三	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二三七四	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二三七五	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二三七六	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二三七七	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二三七八	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二三七九	製造法	「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二三八〇	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二三八一	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二三八二	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二三八三	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二三八四	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二三八五	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二三八六	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二三八七	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二三八八	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二三八九	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二三九〇	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二三九一	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二三九二	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二三九三	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二三九四	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二三九五	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二三九六	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二三九七	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二三九八	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二三九九	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二四〇〇	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二四〇一	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二四〇二	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二四〇三	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二四〇四	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二四〇五	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二四〇六	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二四〇七	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二四〇八	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二四〇九	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二四一〇	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二四一一	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二四一二	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二四一三	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二四一四	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二四一五	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二四一六	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二四一七	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二四一八	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二四一九	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二四二〇	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二四二一	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二四二二	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二四二三	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二四二四	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二四二五	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二四二六	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二四二七	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二四二八	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二四二九	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二四三〇	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二四三一	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二四三二	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二四三三	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二四三四	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二四三五	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二四三六	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二四三七	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二四三八	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二四三九	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二四四〇	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二四四一	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二四四二	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二四四三	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二四四四	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二四四五	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二四四六	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二四四七	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二四四八	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二四四九	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二四五〇	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二四五一	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二四五二	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二四五三	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二四五四	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二四五五	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二四五六	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二四五七	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二四五八	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二四五九	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二四六〇	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二四六一	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二四六二	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二四六三	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二四六四	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二四六五	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二四六六	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二四六七	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二四六八	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二四六九	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二四七〇	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二四七一	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二四七二	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二四七三	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二四七四	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二四七五	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二四七六	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二四七七	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二四七八	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二四七九	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二四八〇	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二四八一	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二四八二	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二四八三	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二四八四	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二四八五	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二四八六	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二四八七	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二四八八	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二四八九	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二四九〇	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二四九一	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二四九二	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二四九三	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二四九四	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二四九五	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二四九六	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二四九七	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二四九八	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二四九九	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二五〇〇	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二五〇一	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二五〇二	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二五〇三	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二五〇四	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二五〇五	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二五〇六	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二五〇七	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二五〇八	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二五〇九	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二五一〇	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二五一一	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二五一二	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二五一三	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二五一四	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二五一五	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二五一六	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二五一七	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二五一八	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二五一九	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二五二〇	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二五二一	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二五二二	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二五二三	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二五二四	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二五二五	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二五二六	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二五二七	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二五二八	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二五二九	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二五三〇	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二五三一	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二五三二	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二五三三	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二五三四	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二五三五	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二五三六	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二五三七	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二五三八	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二五三九	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二五四〇	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二五四一	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二五四二	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二五四三	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二五四四	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二五四五	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二五四六	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二五四七	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二五四八	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二五四九	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二五五〇	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二五五一	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二五五二	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二五五三	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二五五四	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二五五五	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二五五六	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二五五七	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二五五八	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二五五九	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二五六〇	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二五六一	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二五六二	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二五六三	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二五六四	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二五六五	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二五六六	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二五六七	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二五六八	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二五六九	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二五七〇	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二五七一	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二五七二	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二五七三	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二五七四	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二五七五	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二五七六	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二五七七	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二五七八	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二五七九	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二五八〇	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二五八一	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二五八二	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二五八三	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二五八四	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二五八五	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二五八六	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二五八七	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二五八八	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二五八九	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二五九〇	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二五九一	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二五九二	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二五九三	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二五九四	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二五九五	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二五九六	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二五九七	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二五九八	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二五九九	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二六〇〇	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二六〇一	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二六〇二	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二六〇三	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二六〇四	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二六〇五	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二六〇六	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二六〇七	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二六〇八	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二六〇九	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二六一〇	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二六一一	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二六一二	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二六一三	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二六一四	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二六一五	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二六一六	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二六一七	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二六一八	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二六一九	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二六二〇	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二六二一	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二六二二	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二六二三	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二六二四	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二六二五	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二六二六	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二六二七	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二六二八	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二六二九	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二六三〇	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二六三一	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二六三二	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二六三三	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二六三四	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二六三五	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二六三六	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二六三七	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二六三八	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二六三九	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二六四〇	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二六四一	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二六四二	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二六四三	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二六四四	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二六四五	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二六四六	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二六四七	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二六四八	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二六四九	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二六五〇	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二六五一	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二六五二	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二六五三	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二六五四	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二六五五	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二六五六	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二六五七	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎	
二六五八	分解船	愛知縣　吉田　勘三郎	
二六五九	携帶用齒磨容器	同　牛岡　安兵衛	
二六六〇	麥稈突製器	廣島縣　藤澤　彌市	
二六六一	鋼ヲ硬固ニスル方法	米國　「レンストローム、テンパード、コツパーコンパニー」	
二六六二	車	岐阜縣　安藤　彦次郎	
二六六三	軍艦用砲架	英國　「ゼー、ホチキス、オーダンス、コンパニー、リミテッド」	
二六六四	螺式「レザー」製造法	東京府　森　可理	
二六六五	染色法	愛知縣　花崎　直次郎	
二六六六	船體機械除裝置	米國　「ジヨージ、イー、ポンホフマン」	
二六六七	懸金錠	大阪府　法西　德次郎	
二六六八	赤羽式竈壁排氣裝置	赤羽　八百次 長野縣　赤羽　林次郎

第7211号　本文

○廣告

○官印遺失

○閉院

○貯金通帳七失及盜難

○證券保管通帳七失

○購買入札

○工事請負入札

第7211号　本文

○入札拂下

明治四十年七月十三日　帝國鐵道廳工務部

○入札拂下

明治四十年七月十三日　大阪砲兵工廠

○入札拂下

明治四十年七月十三日　門司陸軍兵器支廠

○入札拂下

明治四十年七月十三日　陸軍運輸部本部

○入札拂下

明治四十年七月十三日　第十二師團經理部

○入札拂下公告中訂正

明治四十年七月十三日　帝國鐵道廳鹿兒島出張所

○入札拂下

明治四十年七月十三日　宮城大林區署

○商業登記

正誤

第7211号　本文

第7211号　本文

第7211号　本文

第7211号　本文

○産業組合登記

○準禁治産宣告

○公示催告

○準禁治産宣告取消

○公示催告

○失踪宣告

○公示催告中訂正

○準禁治産宣告

第7211号　本文

第 7211 号　本文

官報第七千二百十一號附錄

明治四十年七月十三日

○辭令

（省通）

海軍四等主廚　長國　興作
同　田口　三千象
同　佐藤　留次郎
同　星澤　政康
同　高橋　新吉
同　伊東　武治
同　後藤　和三郎
同　和田　清治
同　長峰　七郎
同　鬼塚　信
同　平山　稻
同　菊田　三次郎
同　海老根　炊
同　五十風源一郎
同　仲見川　貫
同　飯塚　三之助
同　鈴木　芳次郎
同　和一　萬次郎
同　關山　治
同　內山　久
同　高橋　寅次
同　永澤　和一
同　高橋　卯三郎
同　庵原　豐吉
同　石澤　榮之進
同　萱原　長治
同　久光　虞
同　後藤　二三四郎
同　加藤　末吉
同　結城　善之進
同　川龜　崇之助
同　相澤　新左衛門
同　高橋　萬作
同　佐藤　甚之助
同　草川　甚五郎
同　山北　才市
同　今高　龜藏
同　大谷　瀧藏
同　中村　金藏
同　佐藤　產吉
海軍五等水兵　鈴木　八右衛門
同　芝田　和一　蔦松
同　水越　嘉一　村松
同　阿知波　德兵衛　八木藤　左衛門

海軍一等水兵　垣本　幸平
同　中道　治三郎
海軍一等機關兵　林　錦三郎
海軍一等主廚　鎌田　音松
同　石橋　理一郎
元海軍五等水兵　中島　半之助
元同　淺居　次平
元同　矢田部廟二郎
元海軍四等機關兵　藤澤　健藏
元同　三宅　親望
元海軍五等機關兵　笠谷　直吉
海軍三等信號兵　中矢　宋吉
同　山口　勝之進
海軍四等水兵　公文　乘補
海軍三等水兵　芝原　覺治
海軍四等主廚　小原　直吉
同　大田　音吉
同　藤本　慥七
同　小池　孫次郎
海軍四等水兵　木村　欽吉
海軍三等水兵　西　九平
同　箱木　芳助
同　堀切　覺之助
同　赤井　和一
同　木戸脇　留治郎
同　新谷　豐三郎
同　石田　濟作
同　山本　小助
同　大久保　喬
海軍三等信號兵　沙崎　福平
同　小島　鐘三郎
同　岡島　勝次
同　林　芳太郎
同　大島　五郎
海軍三等水兵　石上　大吉
同　細田　正男
海軍三等筆記　大島　榮
同　淺井　思雄
同　白井　清亮
同　持田　幸次郎
同　飯島　幸重
同　中村　聲之助
同　松島　和三郎
同　杉下　四谷
海軍四等主廚　松本　幸太郎
海軍三等水兵　萩原　貫造
同　角田　長十
同　宮永　福平
同　小林　勞之助

同　宮本　久吉
同　酱　房太郎
同　大橋　佐助
同　奥田　重太郎
同　吉住　松次郎
同　高地　辰一
同　野鹿園　正一
同　倉本　龜松
同　山田　由松
同　前田　連三郎
同　藤田　鬼市
同　有澤　琢藏
同　清水　榮太郎
同　島田　眞一郎
同　富谷　治三郎
同　池中　豐
海軍四等水兵　岩田　眞七
同　堂野　正
同　岡本　密一
同　岡　智也
同　水原　德松
同　御前　德
同　岡橋　信次郎
同　小原　丈一
同　大原　勝次郎
同　岡部　又基
同　落合　改重
同　尾野本　嘉平
同　大野　友吉
同　大田　長次
同　川崎　喜平
同　梶山　倫一
同　吉本　竹治郎
同　高木　大吉
同　谷口　常次郎
同　高橋　辰三郎
同　市太郎　五男
同　炭屋　太民
同　杉原　傳五郎
同　鈴木　悳七
同　淺太郎　虔
同　鐵崎　銀三
同　木下　文太郎
同　小林　達次郎
同　丸山　常太郎
同　松井　常太郎
同　上野山　滕松
同　中田　英一
同　津村　房吉
同　成川　圧
同　上屋　眞次郎
同　花澤　常太郎
同　吉田　患藏
同　赤間　吉之助
同　三橋　桑吉
同　齋藤　平吉
同　久之進　由五郎
同　吉田　重次郎
同　矢目　巳左治
同　內藤　三九郎
同　竹松　亀松
同　橋本　音松
同　三枝　石橋
同　西野　理一郎
同　林　音松
同　井本　錦三郎
同　荒井　侈之助
同　乾　直之助
同　賀根　賢次郎
同　平岡　賢之助
海軍二等信號兵　同　鈴木　留吉
同　庄田　初三郎
同　平岡　晉一
海軍一等信號兵　赤間　久之進
海軍一等主廚　花澤　永次郎
海軍二等水兵　土屋　患藏
同　常太郎
同　吉田　吉之助
同　鈴木　桑吉
同　上野　英一
同　中川　圧
同　津村　房吉
同　成川　圧
同　上屋　眞次郎
同　花澤　常太郎
同　吉田　患藏
同　赤間　吉之助
同　三橋　桑吉
同　齋藤　平吉
同　久之進　由五郎
同　吉田　重次郎
同　矢目　巳左治
同　內藤　三九郎
同　竹松　亀松
同　橋本　音松
同　三枝　石橋
同　西野　理一郎
同　林　音松
同　井本　錦三郎
同　荒井　侈之助
同　乾　直之助
同　賀根　賢次郎
同　平岡　賢之助
海軍二等機關兵　同　林　勝次郎
同　西野　楠之助
同　田中　巽次郎
同　上野山　房吉
同　松井　滕松
同　常太郎　常吉
同　丸山　達次郎
同　小林　文太郎
同　木下　達次郎
同　鐵崎　常太郎
同　淺太郎　常吉
同　虔　悳七
同　市太郎　鐵三
同　炭屋　銀三
同　杉原　市太郎
同　鈴木　貫一
海軍三等機關兵　同　淺太郎　常吉
同　鐵崎　悳七
同　木下　銀三
同　小林　文太郎
同　丸山　達次郎
同　松井　常太郎
同　上野山　滕松
同　中田　英一
同　津村　房吉
同　成川　圧
同　上屋　眞次郎
同　花澤　常太郎
同　吉田　患藏
同　赤間　吉之助
同　三橋　桑吉
同　齋藤　平吉
同　久之進　由五郎
同　吉田　重次郎
同　矢目　巳左治
同　內藤　三九郎
同　竹松　亀松
同　橋本　音松
同　三枝　石橋
同　西野　理一郎
同　林　音松
同　井本　錦三郎
同　荒井　侈之助
同　乾　直之助
同　賀根　賢次郎
同　平岡　賢之助

明治三十七八年從軍記章條例ニ依リ海軍大臣ノ奏請ヲ經テ明治三十九年三月三十日勅定ノ從軍記章ヲ授與ス

海軍三等機關兵曹　村岡　秀助
元海軍三等機關兵曹　北村　宗幸
海軍三等築記　小林　次郎
同　小林　次郎
海軍二等水兵　櫛邊　三右エ門
元海軍三等水兵　山本　文藏
同　柏木　鳰太郎
海軍二等機關兵曹　川淵　與市

敘任及辭令
敘任及辭令
第7211号

同　同　同　

官報第七千二百十一號附錄

明治四十年七月十三日

敍任及辭令正誤（任官及辭令ノ誤ハ官報ヲ以テ左ノ方式ニ依リ正誤ヲ掲載ス）

一等卒　安次嶺仁太郎（三九、一、八）
一等卒　二木　昌一（三九、一、八）
一等卒　吉嶺　米吉（三九、一、八）
一等卒　福元喜左衛門（三九、一、八）
一等卒　眞邊吉太郎（三九、一、八）
一等卒　入舟次左衛門（三九、一、八）
一等卒　齊藤　長助（三九、一、八）
一等卒　林　鶴雄（三九、一、八）
一等卒　宮山　錄戸（三九、一、九）
一等卒　堺目　伊藏（三九、一、九）
一等卒　森田　村藏（三九、一、一四）
一等卒　安藤　勝次（三九、一、一四）
一等卒　吉川　角三（三九、一、一〇）
一等卒　岡村卯一郎（三九、一、一四）
一等卒　野口　與市（三九、一、九）
一等卒　南　寅松（三九、一、九）
一等卒　土橋　又平（三九、一、九）
一等卒　深澤　永市（三九、一、八）
一等卒　青木　磯重（三九、一、八）
一等卒　建野龜次郎（三九、一、八）
一等卒　村中　米松（三九、一、八）
同（一等兵）　竹本與三郎（六、一、二）
同（一等兵）　竹内初次郎（七、一、二）
大橋　輝夫（九、一、二）
前田仙太郎（九、一、二）
西嶋　眞吉（九、一、二）
同（一等兵）　野村喜太郎（九、一、二）
宮崎久米次郎（九、一、二）
井下　信治（九、一、二）
同（一等兵）　椎名　石松（九、一、二）
的野龜次郎（九、一、二）
岩佐一太郎
打越千之丞
一等卒
米田　富藏
高橋德治郎
稻子　淚藏
歩兵上等兵
相馬　奥治
池山　京平
上等兵
一等卒　齋藤　兵吉（三四、九、一）
畠山三治郎
正七位
歩兵上等兵
砲兵輸卒
木本幷太郎
天木二太之助
一等卒
稲川政太郎
元ヲ脫ス
元ヲ脫ス
元ヲ脫ス
黒附久米次郎
看護手
井下　信治
歩兵軍曹
的野龜次郎
成瀨　勝治
岩佐市太郎（三九、一、二）
打越千之丞（三九、一、二）
一等卒
米田　富藏（三九、一、二）
高橋德治郎（三七、一、三）
稻子　淚藏（三四、九、一）
歩兵上等兵
同（一等兵）　矢野　克吉（三四、九、一）
相馬　奥次（三四、九、一）
池上　京平（三四、九、一）
一等卒　齋藤　兵吉（三四、九、一）
畠山三次郎（四、一、一三）
正八位　高橋大太郎（三四、一、一三）
歩兵上等兵　小川八百次（三四、一、一三）
同（一等兵）　岩本　長吉（三四、一、一三）
輜重輸卒　及川新之助（三七、一、一〇）
木本林太郎（四、一、一三）
天木仁太之助（四、一、一三）
一等卒　折戸　清七（四、一、一三）
二等卒　澤田　通正（三九、一、一三）
中田重次郎（三九、一、一三）
竹田　基俊（三九、一、一三）
一等卒　吉田寅太郎（三九、一、一三）
武田　基俊（三九、一、一三）
德見瀧治郎（三九、一、一三）
一等卒　高嶋　辰藏（三九、一、一三）
永澤　巍雄（三九、一、一三）
岡田駒太郎（三九、一、一三）
一等卒　福田幾太郎（三九、一、一三）
仁井　仁助（三九、一、一三）
島村　明治（三九、一、一三）
松田　留松（三九、一、一三）
林　僧三郎（三九、一、一三）
沖　瓦信（三九、一、一五）
平尾卯太郎（三九、一、一五）
豐田佐喜太郎（三九、一、一五）
一等卒　大田越宇太郎（三九、一、一五）
有本　與一（三九、一、一〇）
山口鹿太郎（三九、一、一五）
同（一等兵）　渡邊丑之助（三九、一、一五）
菖田龜太郎（三九、一、一〇）
松本　五郎（三四、一、一三）
阿ノ部重吉（三四、一、一三）
中井　文次
三善　藏
中川十二郎
福嶋政治郎
元ヲ脫ス
一等卒
小河八百次
正七位
歩兵上等兵
砲兵輸卒
木本幷太郎
天木二太之助
一等卒
稲川政太郎
元ヲ脫ス
元ヲ脫ス
元ヲ脫ス
黒附久米次郎
看護手
井下　信治
歩兵軍曹
的野龜次郎
成瀨　勝治

許可なく複製を禁ず

第7211号　叙任及辞令

官報　第七二一一號附錄　明治四十年七月十三日

11

第7211号　叙任及辞令